

第3回府中市市民協働推進協議会 会議録

- 日時 平成26年7月30日(水)午後2時～3時40分
- 会場 市役所北庁舎第6会議室
- 出席者 (委員)
千賀会長、正満委員、田中委員、戸島委員、長谷部委員、
村山委員、八木委員、吉井委員
(事務局)
中川市民協働推進本部長、
村越市民活動支援課長兼市民協働推進担当主幹、
岩田市民活動支援課長補佐、板橋市民協働推進担当副主幹、
新妻市民協働推進担当主査、佐藤事務職員
(オブザーバー)
松木府中NPO・ボランティア活動センター事務局長
(運営支援事業者)
株式会社ダイナックス都市環境研究所 山本所長、谷口研究員、
江沢研究員
- 欠席者 山崎副会長、太田委員、長島委員、原委員、山上委員
- 傍聴者 0名
- 議事
1 開会
2 議題
行動計画(案)の検討について
3 その他
- 資料 府中市市民協働推進行動計画(案) (叩き台)

1 開会

(会長) 定刻になりましたので、第3回府中市市民協働推進協議会を開会いたします。事務局から本日の委員の出席状況などについて、報告をお願いします。

(事務局) 本日はご多忙のところ、本協議会にご出席いただき、ありがとうございます。それでは、事務局から何点かご報告を申し上げます。

本日の出席状況でございますが、山崎副会長、太田委員、長島委員、原委員、山上委員から欠席のご連絡をいただいておりますので、定数13名中8名の委員の皆様に出席をいただいております。したがって、過半数を超えておりますので、本協議会は有効に成立していることを併せてご報告します。

なお、前回、7月14日の協議会ですが、定数に達しておりませんでしたので、前回協議会は意見交換会という位置付けとなり、本日が第3回協議会ということになりますので、ご承知おきください。

続きまして、本日の傍聴ですが、現在までに1名の方の応募がありました。本日はいらっしゃっておりません。

(※事務局より資料の確認)

(会長) 7月14日の協議会が定数に達しなかったため、6月30日に実施した第2回の協議会の議事録の確定を行います。事前にご確認いただいておりますが、改めて修正等でお気づきになることはございますか。

(※「なし」の声あり)

(会長) それでは、第2回目の協議会議事録として確定させていただきたいと思っております。前回の議事録及び資料を、市役所3階情報公開室、中央図書館、ホームページ等で公開をお願いします。

2 議事

(会長) それでは、これより議題に入ります。議題の1 計画案の検討についてをお願いします。

(事務局) あらためまして、6月30日、7月14日の協議会における職員を交えたワークショップ、お疲れ様でした。

本日は、2回のワークショップで、皆様や職員から意見をいただく中で、基本方針に掲げる10項目に対し、いかに取り組んでいくかと

いう、目標の確認を行ったうえで、10項目のうち、重点的に取り組むべきものについて、ご議論いただきたいと考えております。

なお、次回協議会においては、市民協働を推進するための具体的な方策、施策などについてご議論いただきたいと考えております。

内容につきましては、コンサルタントよりご説明させていただき、その後、皆様でご議論をいただければと考えております。

また、参考2についてですが、6月に、NPO・ボランティア団体、自治会・町内会、商店会、企業・教育機関約1000団体に対し、協働に関するアンケートを、参考3は、庁内の協働に関する実績調査を行いましたので、議論の一助としていただければと思います。

(※ダイナックス都市環境研究所(以下DX)よりワークショップの振り返りと、計画策定に向けた説明)

(会長) ありがとうございます。アンケートの結果について、説明をお願いします。

(※DXよりアンケート結果報告について説明)

(会長) ただいま説明のありました内容を踏まえて、検討していきたいと思いますが、検討すべき点を整理し、確認しておきます。

1点目が、計画の全体的な構成について。2点目が、基本方針第4章に基づく行動計画であり、10項目のうち、重点的に取り組むべきものについて。3点目が、この行動計画は、協働を推進していく「行政」の行動計画であるということ。これらを抑えていただいたうえで、ご質問・ご意見ををお願いします。

(委員) 重点項目の組み立てを変えるのか、それとも中身を厚くするのでしょうか。

(事務局) ワークショップなども踏まえて、10項目のうち特に重点を置きたい項目などを議論していただきたいと考えております。また、具体的に取り組みたい施策などがあれば、ご意見ををお願いします。基本的にはこの10項目で計画を策定したいと考えております。

(委員) 文言の修正についてです。

(1) 市民の協働に対する意識の醸成、下から2行目。

「意欲ある市民の～」

→「市民の意欲を高め、市民の～」

意欲のある市民だけでなく、市民の意欲を高めるということも入れてほしいです。意欲がないのではなく、きっかけがないだけということもあるので、広く受け皿をつくるという意味もあります。

(2) 職員の意識改革及びスキルアップについて。

2行目、

「行政だけで行う場合と比べて手間が掛る場合があり～」

→「表面的に手間がかかる場合に～」

手間が掛る場合でも、それによってお互いの意見を深く交換できることがあります。

4行目、

「これまでの慣例にとらわれずに～」

→「職員同士も協働するように努め、これまでの慣例にとらわれずに～」

ワークショップでも、まず職員間の協働が必要なのではないかという意見がありました。

(7) 協働事業提案制度の整備、2行目。

「市民団体等に提案や参加を求める制度の整備について～」

→「市民団体等に提案や参加を求める制度や組織の整備について～」

ワークショップでも、相談窓口が分からないという意見が多かったので、ぜひ入れてください。

(委員) (4) 協働のコーディネート機能の育成について。

難民支援等の分野でもコーディネーターが必要という議論はありますが、コーディネーターを育成しても、その先どこで就職できるかが問題となっています。

中間支援組織や専門職など予算措置に影響するのか、市に見通しがあれば教えてください。

(委員) コーディネーターは不可欠だと思います。

三鷹市では、清掃や見守り等、日常的な活動のコーディネートは事務局が行っていますが、どうしても個人スキルの偏りが課題となります。その点、横浜市では、専門的な活動に関してはアドバイザーとして、地域の中で機能するコーディネーターの育成とは分けています。

コーディネーターとして経験を重ねスキルアップしたことで、別団体をつくり年間200万円の補助を受けて活動しているところもあるそうです。とはいえ、固定した就職先にはなりにくいと思います。

(事務局) 現状では、予算措置や専門職として雇うという形は行われていません。中間支援組織強化のための予算はありますが、コーディネーターのためだけに使えるものではありません。

もちろん、コーディネーターの重要性は十分に認識しているところ
です。

(委員) ひとことでコーディネーターと言っても、スペシャリストを育てる
つもりでやった方が、活動は伸びると思います。

(委員) (5) 市民活動拠点施設について。

この9月から、既存の公共施設について「あり方検討会」のような
ものが行われるようですが、こちらとはどのような関係になっている
のでしょうか。

(事務局) 施設有効活用のために、協働に生かしたいと考えています。検討会
と整合性を取りながら進めてまいります。

(委員) ワークショップでは若者との協働という話が出たようですが、東京
外国語大学の学生は、どうしても外国に目が向いています。ですので、
地元に対しての意識を高めるためにも、まずは市と一緒に何か行い、
接点を作れるといいと思います。小さなことが協働のきっかけになる
かもしれません。

(会長) 東京農工大学の学生にも、同じようなことがいえるかもしれません。

(委員) 浅間山に行った際、虫捕りに来ていた小学生と少し話をしました。
以前はカブトムシも多く見られたのですが、一時、業者が捕ってしま
ったということもあり、すっかり減ってしまいました。

山の清掃だけでなく、バードウォッチングや花の観察会などを通し
て、防犯活動にもつなげることができると思います。素晴らしい浅間
山で、色々な協働ができるのではないのでしょうか。

(会長) 雑木林もなくなり、水田も整備されたものになっています。用水路
の整備も昔は市民が行っていましたが、今は市などが行っている状態で、
こどもの遊び場も減ってしまっています。

(委員) アンケート結果を見ると、日頃から市との連絡が密に行われている
自治会・町内会は50%以上の回収ができていますが、他の回収率は低
いです。

まずは多くの声を集めることに重点を置いた方がよいのではないで
しょうか。(1) 市民の協働に対する意識の醸成、(3) 情報共有及び
双方向型コミュニケーションの推進、(6) 市民自身が市民の活動を支
える環境づくり、(7) 協働事業提案制度の整備の中でパイロット事業
を考え、スタートさせるのがよいと思います。

(松木事務局長) NPO団体のアンケート回収率が低いのは、月1回程度の会
合しか設けていない団体が多く、総意としての回答が出しにくかったの
ではないかと思います。

(委員) この行動計画案は、誰に対して出すものでしょうか。意味は分かるのですが、文言がなかなか頭に入ってこないです。

(事務局) 協働を推進するために、市がどのように基盤整備すればよいかを示すもので、この行動計画をもとに行動をするのは、基本的には市です。

(事務局) 市がこの計画を作るにあたり、協議会でご検討いただき、ご意見をいただきます。市が、いつまでに何をすべきかを示すものです。

(会長) とはいえ市民も読むものなので、分かりにくい文言があれば修正をしてください。

(委員) (1) 市民の協働に対する意識の醸成と (2) 職員の意識改革及びスキルアップの文章が悲観的な表現なので、前向きな表現に変えた方がよいと思います。

例えば「職員」という言い方を変えたり、内部でも変えていきましようという前向きな表現にするといいと思います。

また、団体に協働したいと思われるためには、専門性のあるコーディネーターがマッチングを行う必要があると思います。

(会長) ご発言いただいた意見を踏まえて、事務局は見直し、修正をお願いします。

3 その他

(※事務局より、次回協議会を8月19日(火)午後2時から、同会議室で開催する旨を告知)

(委員) 意見はいつまで提出できますか。欠席した人もいるので、連絡してほしいです。

(事務局) スケジュールを見て、追ってメールなどでご連絡します。

【8月5日(火)までに、様式「備忘メモ」にて提出】

(会長) 意見出しのヒントにもなるので、今日の議事録も早めに送付してください。

以上をもちまして、本日の協議会を閉会いたします。お疲れさまでした。